

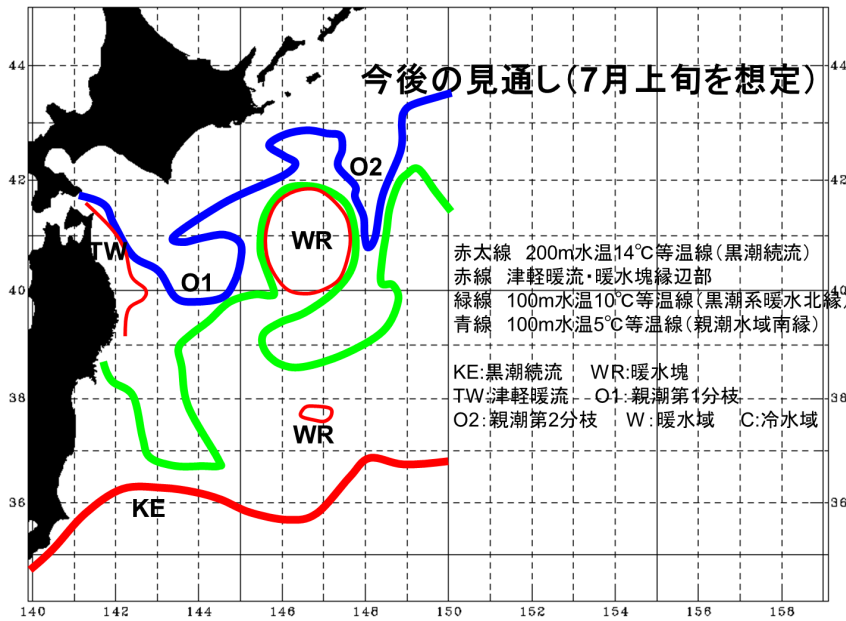


2024年度 第2回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2024年6月下旬～2024年7月上旬)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置は平年並みで推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは平年並み～やや南偏で推移する。
- ・ 三陸沖の暖水塊は停滞し、金華山はるか沖の暖水塊は西へ移動する。



問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
担当：海洋環境部（釧路） 清水、東屋
電話：0154-91-9136、ファックス：0154-91-9355
当資料のホームページ掲載先URL
<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/>

2024年度第2回東北海区海況予報

《今後の見通し（2024年6月下旬～2024年7月上旬）》

近海の黒潮統流の北限位置は平年並みで推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並み～やや南偏で推移する。三陸沖の暖水塊は停滞し、金華山はるか沖の暖水塊は西へ移動する。

《海況の経過（2024年4月～2024年5月下旬）の特徴》

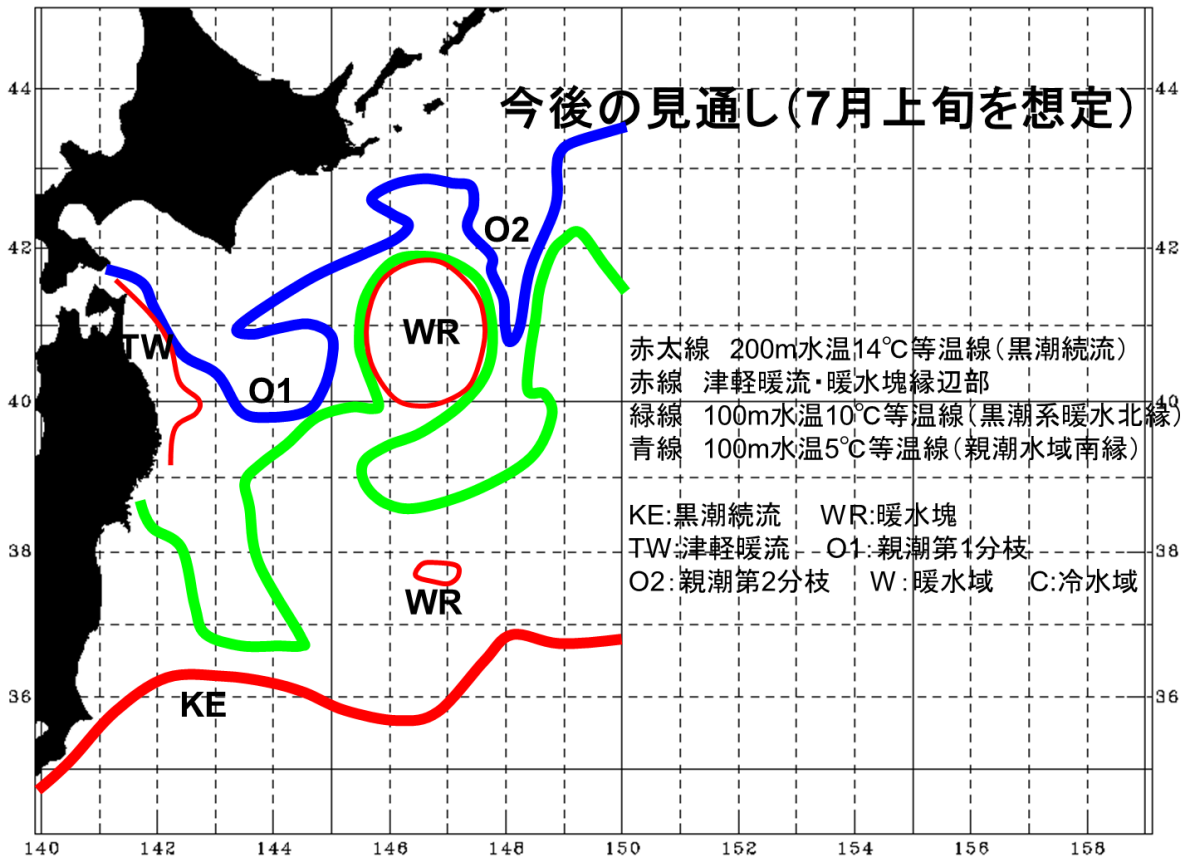
近海の黒潮統流の北限位置は極めて北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並み～やや北偏で推移した。三陸近海と三陸沖合の暖水塊は一つになった。金華山はるか沖に新たな暖水塊が形成された。

《現況（2024年6月上旬）の特徴》

近海の黒潮統流の北限位置はかなり北偏、親潮第1分枝の張り出しは平年並みである。暖水塊が三陸沖合と金華山はるか沖にある。

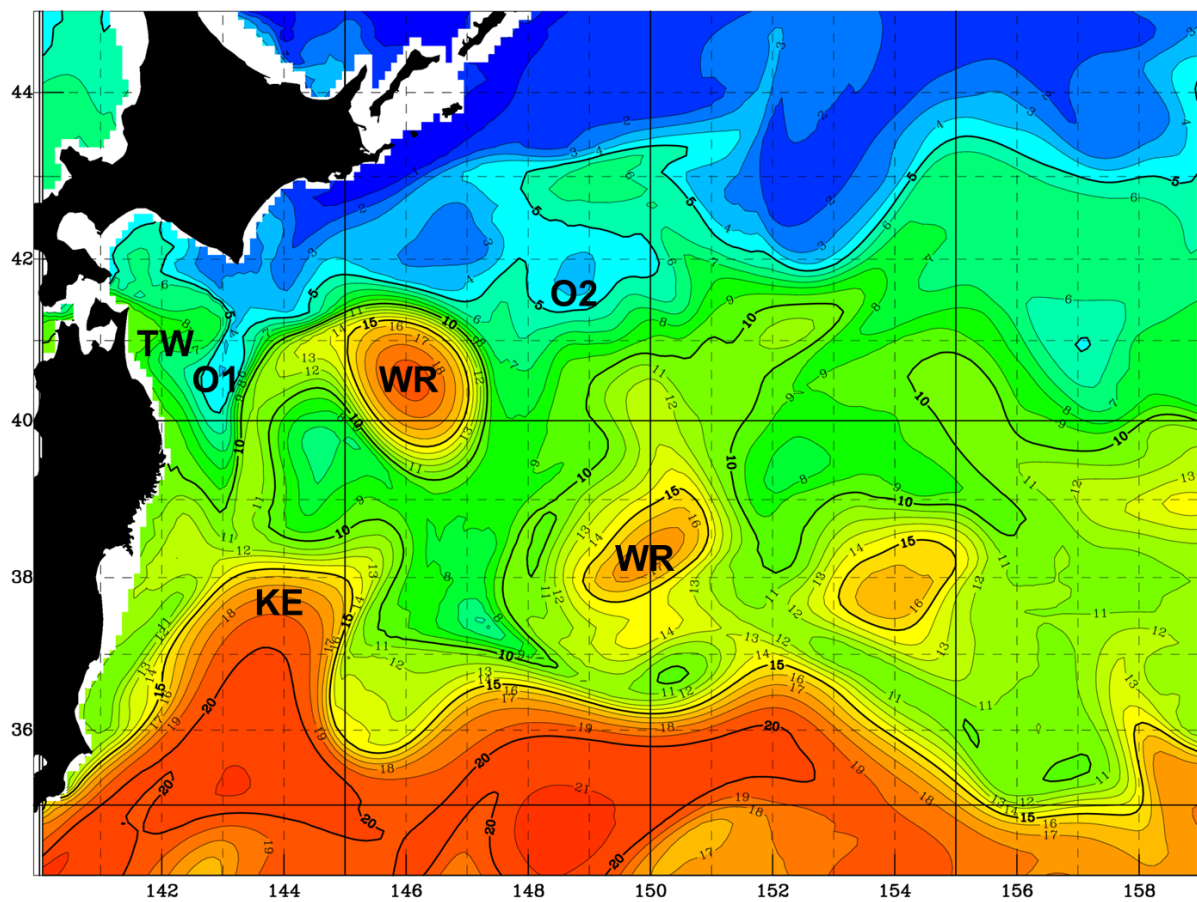
（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2022年3月より運用を開始したFRA-ROMS II システムを用いた。FRA-ROMS II は、我が国周辺海域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

7月上旬予測水温分布図



6月上旬現況水温分布図（100m深）

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2024/0601 - 2024/0607



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>(取りまとめ機関)</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p>
--	--